

## 資料紹介・『平成19年度三浦市文化財展 いなりっこ展』図録

2017年6月28日に神奈川県三浦市・海南神社で実施された神楽面撮影。撮影点数は99点であったことが成城大学の馬場さんからのツイッター（6月30日付け）で報告されました。加えて、「三浦市は神楽面の宝庫」というコメントが付されていました。

宝庫となっている理由は、三浦市の「いなりっこ」行事にあります。その「いなりっこ」について知るには、『平成19年度三浦市文化財展 いなりっこ展』の図録が参考になります。A4版の小冊子。24ページ仕立ての冊子ですが、湊不二雄さん、吉田恵子さん、佐藤照美さん、渡辺直哉さんらが市内の「いなりっこ」の舞台を綿密に調べ上げた成果がベースになっています。

今回の調査では、海南神社の神楽師会が収蔵してきた神楽面に加えて、海南地区が所蔵してきた「いなりっこ」の面を撮影しましたが、「いなりっこ」の面の構成と面の図は、神楽面の変化を知る上で、大変参考になりました。

各地区に伝えられてきた「いなりっこ」行事、そして各地区で所蔵されてきた「いなりっこ」面の数々。それらを実地に検分してはおりませんが、この図録に紹介されています。日の出、花暮、上橋、宮城、西浜、海外、向ヶ崎町、田中などに興味深い面資料が残っていることが理解できました。（残念ながら写真サイズが小さい）

「いなりっこ」で使われてきたお面を特集した図録の刊行を期待したいです。

※□『平成19年度三浦市文化財展 いなりっこ展』

編集・発行 三浦市教育委員会

発行日 平成19年10月6日